

中国四国歴史学地理学協会 2021年度大会のご案内

早や立夏の候となりましたが、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、すでにお知らせしましたとおり、来る2021年6月26日（土）・27日（日）の両日、オンラインで、中国四国歴史学地理学協会2021年度大会を開催いたしますので、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2021年5月

中国四国歴史学地理学協会2021年度大会実行委員会
協会会長 長谷川 博史
大会実行委員長 井内 太郎

大会プログラム

期日：2021年6月26日（土）・27日（日）

第1日目：6月26日（土）

13：30～14：15 評議員会（オンライン）

15：00～16：00 講演（オンライン）

講演題目：「近世たたら製鉄史研究の現在」

講師 中山富廣（広島大学教授）

16：15～17：00 総会（オンライン）

第2日目：6月27日（日）

部会発表（日本史学・東洋史学・西洋史学・考古学）

9：30～ 研究発表開始

日本史学部会（オンライン）

1. 戦国大名毛利氏と鉄炮—吉川氏を中心に— 藤井 俊輔（広島大学・院生）
2. 戦国大名毛利氏の交通政策 中原 寛貴（広島大学・院生）
3. 私娼黙認運動と警察腐敗—大正期東京の警視庁と花街、私娼街の関係—
寺澤 優（立命館大学衣笠総合研究機構・専門研究員）
4. 「国策固定」と「議論可能性」の相克—原敬と加藤高明を中心に—
5. 近代軍港都市鎮海における産業と資本家 吉田 武弘（琵琶湖疎水記念館）
柳 娜傑（元広島大学・院生）

東洋史学部会（オンライン）

1. 近年における「色目人」研究の展開―「漢人」形成史への展望を兼ねて―
船田 善之（広島大学）
2. 清末改良派の海外活動と華僑社会―1900年前後を中心に― 吳 憲占（広島大学・院生）
3. 晋西北抗日根拠地における労働英雄運動―陝甘寧辺区との比較を中心に―
李 芸（広島大学・院生）
4. 「大東亜共栄圏」における日本「新聞学」の輸出―中華新聞学院から見る日本の「知」―
陶 一然（広島大学・院生）
5. 中国政府のエジプト認識に関する一考察 1950～1960年代を中心に
―中国共産党機関紙『人民日報』を基に― 後田 美沙（広島大学・院生）

西洋史学部会（オンライン）

1. ヘレニズム期カリュムナの負債をめぐる裁判―カリュムナのアポロン神殿出土碑文の分析―
鳥山 剛（広島大学・院生）
2. 14世紀前半バレンシア＝アラゴン王国境界における村落共同体と流通回路
足立 孝（広島大学）
3. 文法学校から見た近世ブリテンの複合性 菅原 未宇（東海大学）
4. 名士リスト制度論―ブリュメール派の統治技法― 藤原 翔太（福岡女子大学）
5. ワイマル共和国後期のベルリンにおける政治的酒場 原田 昌博（鳴門教育大学）

考古学部会（オンライン）

1. 長者スクモ塚第1号古墳第5次調査について 宇野 真太郎（広島大学・学部生）
2. 西条盆地における古墳と集落の空間的關係についての一考察
―長者スクモ塚古墳群・三ッ城古墳を中心に― 森木 琉（広島大学・学部生）
3. 西条盆地における前・中期古墳の墳丘構築方法の検討 竹田 千紘（広島大学・学部生）
4. 古墳時代前・中期における安芸地方の埴輪について 小出来 恒平（広島大学・学部生）
5. 県史跡松本古墳の発掘調査報告 江草 由梨（福山市経済環境局文化観光振興部）
6. 製作技術からみた「神谷川式土器」の編年的研究
―鉢形土器・高坏形土器の分析を中心として― 井島 大地（広島大学・学部生）
7. 月崎下層式土器の再評価 今福 拓哉（島根県埋蔵文化財調査センター）
8. 考古学における測量技術と記録保存の将来を考察する―3Dモデリングの現状について―
RAC CARMEN（エバーハルト・カール大学テュービンゲン・院生）

参加資格：協会会員 参加希望の方は下記まで入会をお申込みください。
tinai@hiroshima-u.ac.jp, funada@hiroshima-u.ac.jp

中国四国歴史学地理学協会 2021 年度大会実行委員会
〒739-8522 東広島市鏡山 1-2-3 広島大学文学部